

<b>授業科目名</b>	コミュニティと音楽文化(2100149)		
<b>時間割名</b>	コミュニティと音楽文化(33111)		
<b>時間割担当</b>	山本美紀		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	水・3		

### 授業の目標・概要

音楽はコミュニティ（共同体）の中で共有されるとき、その共同体の一致を体感・実感させる役割を果たしてきた。例えば日本で「第九」で親しまれている「ベートーヴェン交響曲第九番」などは、音楽による新しいコミュニティの理想の姿が作品の根底にある。本講義では、世界の様々なコミュニティの中で音楽が果たしてきた役割・機能についての知識を踏まえ、コンサートホール等の文化施設や学校など現代日本の地域社会で営まれている音楽活動の実態から、コミュニティにおける音楽の今日的な意義と可能性について学ぶものである。

### 学習の到達目標

様々な国において、音楽が果たしていきた機能や役割を、歴史的に理解する。さらに、現代社会の公共ホールで行われている、様々な年代層に向けたプログラムを包括的に知ると共に、それが地域をはじめとしたコミュニティにどのような影響を与えているのか、実態に即した知識を得る。最終的には自分の生活の中で、誰かと共に音楽を聴いたり感じたことを的確に表現したり、相手の感じたことを理解できたりするようになる。

### 授業方法・形式

各回のテーマとなる事柄に則した音楽作品や、プログラムを取り上げ、映像・音源を鑑賞して時代における音楽の意義を学ぶ。さらに、受講生が自分が住む地域にある文化施設の音楽イベントを調べ、授業内で紹介・解説し、地域その他の共同体（宗教団体等）の音楽文化や音楽の扱い方などについてディスカッションを行う。

### 授業計画

- 第 1回 ガイダンス
- 第 2回 コミュニティの音楽文化史：西欧社会
- 第 3回 コミュニティの音楽文化史：アジア社会
- 第 4回 コミュニティの音楽文化史：日本（近代）
- 第 5回 コミュニティの音楽文化史：日本（現代）
- 第 6回 戦後日本の音楽とコミュニティ：音楽祭
- 第 7回 日本のパブル時代の音楽とコミュニティ：乱立するホール
- 第 8回 地域文化とホールの役割：海外
- 第 9回 地域文化とホールの役割：日本
- 第10回 地域連携型教育プログラム：海外事例 1
- 第11回 地域連携型教育プログラム：海外事例 2
- 第12回 地域連携型教育プログラム：日本 1
- 第13回 地域連携型教育プログラム：日本 2
- 第14回 ディスカッション：音楽がコミュニティで共有される意味について
- 第15回 まとめ

### 成績評価の基準

課題提出(30%) 発表(35%) 期末レポート(35%)  
毎回の課題を必ず提出すること(それが平常点を兼ねている)。

### 授業時間外の課題

授業時に指示する参考図書などによる、次回授業テーマに関する基礎知識の事前学習。日ごろから、地域で行われている音楽活動について関心を持ち、気になるものについては実際に足を運ぶなど、常に情報を集めておくこと。指示されたレポート課題の提出。レポートのテーマや字数制限など詳細については、授業内で指示する。

### メッセージ

授業時に指示する参考図書などによる、次回授業テーマに関する基礎知識の事前学習。日ごろから、自分の所属するコミュニティ（地域など）で行われている音楽活動について関心を持ち、気になるものについては実際に足を運ぶなど、常に情報を集めておくこと。指示されたレポート課題の提出。レポートのテーマや字数制限など詳細については、授業内で指示する。

### 教材・教科書

山本美紀編著『(仮題)音楽教育から地域の文化力へ イメージをつなげる』ERP出版(H27年8月出版予定)。なお、音楽専門用語が出てくるので、何らかの辞書(電子辞書・携帯電話の辞書は不可)の持参を勧める(推奨辞典については、授業内で紹介)。

### 参考書

授業時に適宜紹介する。